MARUISHI

500g

止瀉剤

タンニン酸アルブミン原末「マルイシ」

Albumin Tannate「Maruishi」

日本薬局方
タンニン酸アルブミン

製造販売元
㊧ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

2014年12月改訂（第3版）	
日本標準商品分類番号	872312
承認番号	22100AMX01383
薬価収載	2009年9月
販売開始	2009年9月
再評価結果	1981年8月

貯　　法：遮光し、室温保存
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）
注　　意：〈配合禁忌〉アルカリにより分解する。

●禁忌（次の患者には投与しないこと）
(1)出血性大腸炎の患者［腸管出血性大腸菌（O157等）や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。］
(2)牛乳アレルギーのある患者［ショック又はアナフィラキシー様症状を起こすことがある。］
(3)本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

●原則禁忌（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）
細菌性下痢患者［治療期間の延長をきたすおそれがある。］

製造番号

使用期限

<調剤包装単位用コード>
(01)04987211238124

<販売包装単位用コード>
(01)14987211138124

紙

MARUISHI

500g

止瀉剤

タンニン酸アルブミン原末「マルイシ」

Albumin Tannate「Maruishi」

日本薬局方
タンニン酸アルブミン

製造販売元
㊧ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

開封口

●組成・性状
1.組成
本品はタンニン酸とたん白質との化合物である。
たん白質の基原は乳性カゼインである。
2.性状
淡褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがある。
水又はエタノール（95）にほとんど溶けない。
水酸化ナトリウム試液を加えるとき、混濁して溶ける。

●効能・効果
下痢症

●用法・用量
タンニン酸アルブミンとして、通常成人1日3～4gを3～4回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

●使用上の注意
1.慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
肝障害のある患者［肝障害を悪化させるおそれがある。］
2.相互作用
(1)併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
経口鉄剤（フェロミア、フェロ・グラデュメット、インクレミンシロップ、フェルムカプセル）	併用により相互に作用が減弱することがあるので併用をしないこと。	鉄と結合し、タンニン酸鉄となり、タンニン酸による収れん作用が減弱する。

(2)併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
塩酸ロペラミド（ロペミン）	塩酸ロペラミドの効果が減弱するおそれがあるので、投与間隔をあけるなど併用に注意すること。	本剤が塩酸ロペラミドを吸着することが考えられる。

3.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(1)重大な副作用
ショック、アナフィラキシー様症状（頻度不明）：ショック、アナフィラキシー様症状を起こすことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、蕁麻疹、顔面浮腫等の過敏症状あるいは気管支喘息発作等の症状が発現した場合には投与を中止し、適切な処理を行うこと。
(2)その他の副作用

	頻度不明
長期・大量投与注）	肝障害
消化器	便秘、食欲不振

注）長期又は大量投与は避けること。

4.高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

MARUISHI

500g

止瀉剤

タンニン酸アルブミン原末「マルイシ」

Albumin Tannate「Maruishi」

日本薬局方
タンニン酸アルブミン

製造販売元
㊧ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

2013年5月改訂（第2版）	
日本標準商品分類番号	872312
承認番号	22100AMX01383
薬価収載	2009年9月
販売開始	2009年9月
再評価結果	1981年8月

貯　　法：遮光し、室温保存
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）
注　　意：〈配合禁忌〉アルカリにより分解する。

●禁忌（次の患者には投与しないこと）
(1)出血性大腸炎の患者［腸管出血性大腸菌（O157等）や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。］
(2)牛乳アレルギーのある患者［ショック又はアナフィラキシー様症状を起こすことがある。］
(3)本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

●原則禁忌（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）
細菌性下痢患者［治療期間の延長をきたすおそれがある。］

製造番号

使用期限

JAN　GS1

4 987211 138127

(01)14987211138124

紙

MARUISHI

500g

止瀉剤

タンニン酸アルブミン原末「マルイシ」

Albumin Tannate「Maruishi」

日本薬局方
タンニン酸アルブミン

製造販売元
㊧ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

●組成・性状
1.組成
本品はタンニン酸とたん白質との化合物である。
たん白質の基原は乳性カゼインである。
2.性状
淡褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがある。
水又はエタノール（95）にほとんど溶けない。
水酸化ナトリウム試液を加えるとき、混濁して溶ける。

●効能・効果
下痢症

●用法・用量
タンニン酸アルブミンとして、通常成人1日3～4gを3～4回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

●使用上の注意
1.慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
肝障害のある患者［肝障害を悪化させるおそれがある。］
2.相互作用
(1)併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
経口鉄剤（フェロミア、フェロ・グラデュメット、インクレミンシロップ、フェルムカプセル）	併用により相互に作用が減弱することがあるので併用をしないこと。	鉄と結合し、タンニン酸鉄となり、タンニン酸による収れん作用が減弱する。

(2)併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
塩酸ロペラミド（ロペミン）	塩酸ロペラミドの効果が減弱するおそれがあるので、投与間隔をあけるなど併用に注意すること。	本剤が塩酸ロペラミドを吸着することが考えられる。

3.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(1)**重大な副作用**
ショック、アナフィラキシー様症状（頻度不明）：ショック、アナフィラキシー様症状を起こすことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、蕁麻疹、顔面浮腫等の過敏症状あるいは気管支喘息発作等の症状が発現した場合には投与を中止し、適切な処理を行うこと。
(2)**その他の副作用**

	頻度不明
長期・大量投与注）	肝障害
消化器	便秘、食欲不振

注）長期又は大量投与は避けること。

4.高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

タンニン酸アルブミン原末
「マルイシ」

500g

(01)04987211238124

プラ
PE、金属

㊧ 丸石製薬株式会社